

(様式1)

| | | | | | |
|----|---------------|------|---|-----|------------|
| 校種 | 小・中 どちらかに○ | 学校番号 | 7 | 学校名 | 宇都宮市立今泉小学校 |
|----|---------------|------|---|-----|------------|

令和3年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな人間性をもち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

◎ 明るく思いやりのある子 (思いやり)

- ◆ ○思いやりの気持ちをもち、場や相手に応じたあいさつをする。
 - 言葉遣いに気を付け、きまりやマナーを守って生活する。
 - 互いの良さを認め合い、助け合って仲良く生活する。

<合言葉>

◎ 自ら考え進んで学ぶ子 (創造力)

- ◆ ○自ら学び、基礎・基本をしっかり身に付ける。
 - 先生や友達の話をよく聞き、落ち着いて学習する。
 - 友達と協力して学習に取り組み、互いに学び合う。

◎ 元気でやりぬく子 (体力・気力)

- ◆ ○進んで運動し、心身を鍛える。
 - あきらめずに、最後までがんばる。
 - 食事や健康、安全に気を付け、けじめのある生活をする。



2 学校経営の理念

『明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小』(キャッチフレーズ)の創造

家庭・地域の信頼と協力の基、誰もが夢や希望を抱き、喜びとやりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童・家庭・地域とともに歩む学校を創造する。

3 学校経営の方針

「学習指導要領」、「第2次宇都宮市学校教育推進計画」、「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」、「令和3年度指導の重点」の趣旨に基づきながら、本校の実態や感染症対策を踏まえ、教職員が健康で生き生きとやりがいをもって、特色ある教育活動を推進する。

★ 自ら進んで考え、楽しく学び合う人づくり

- 「宇都宮モデル」を活用した授業改善や個に応じた指導による学習内容の定着・理解
- ICT等を活用し協働的に課題に取り組む態度の育成及び教師のコーディネート力向上
- 学習習慣の定着(家庭学習・端末の活用)や各教科等との関連を図った学力の育成

★ 当たり前のことが自然にできる人づくり

- 基本的生活習慣の定着(「今泉小学校のあたりまえ五か条」の推進)
- いじめ・不登校等の早期発見や情報共有及び適切な初期対応等による支援の充実
- 教育活動全体を踏まえた道徳科教育の充実及び人権教育や生命尊重の推進

★ 自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり

- 安全な登下校、不審者対策、避難訓練等、安全管理や安全指導の充実
- 感染症対策を講じた体育授業の実践や体育的行事等の充実による体力向上

○健康的な生活習慣の定着（健康管理・保健指導・家庭と連携した食育の推進）

★ 愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくり

- 「安心感」のある集団づくりと日頃から認め・励ます指導の推進（温かみのある学級経営）
- 協働的な活動を通じた自己有用感の育成と郷土愛を育む学習の推進（宇都宮学・道徳科）
- 出前授業や体験活動等を踏まえたキャリア教育の充実（キャリア・パスポートの活用）

★ 9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり

- 泉が丘地域学校園における「小中一貫教育」の推進（合同清掃・あいさつ運動等）
- 地域の教育力を生かした教育活動の充実や「地域はみんなの学校」の推進
- 地域協議会やコミセン・宮っ子ステーション等との連携・協働

★ 教職員がやりがいを持ち生き生きと勤務できる学校づくり

- 教職員の健康安全及び勤務時間を意識した働き方の推進
- 校務の明確化・効率化・簡略化の一層の推進

[泉が丘地域学校園教育ビジョン]

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 本校は JR 宇都宮駅東に位置し、創立 93 周年の伝統ある学校である。地区内には、商業施設やマンション等が建ち並び自然環境が十分ではないため、児童は、自然体験活動等が不足しがちである。一方、近隣には公共施設や保育園・高等学校等がある。また地域のよさや伝統を大切にす地域性があり、自治会や子供会行事は活発で学校教育にも協力的である。
このような児童の発達段階や地域の実態を踏まえ、教科等横断的な視点を意識しながら教育課程を編成するものとする。
- (2) 各種法令や第 2 次宇都宮市学校教育推進計画や第 2 次宇都宮市学校教育スタンダード等を考慮しながら、本校の教育目標や学校経営の基本方針を踏まえて教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ★ **「地域はみんなの学校」** を目指し、地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業等との連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動による人づくりに努める。
 - ★ 様々な「ふれあい」と「学び合い」により、たくさんの「よろこび」を味わうことで自信を深め、個々の力を伸長できる学校づくりに努める。
 - ★ 働き方改革の視点から、校内の業務の適正化を目指し、勤務時間を意識した働き方を推進する。
- (2) 学習指導
- (3) 児童生徒指導
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式 2～4 参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

☆「ふれあいとよろこび 学び合いの教育」

にこにこ活動 (豊かな心)

☆異学年縦割り班活動や体験活動等を充実させ、夢や希望をもってにこにこ笑顔で生活し、他を思いやったり、助け合ったりできる心豊かで優しい児童を育てる。

- ・楽しい縦割り班活動の実施
- ◇農業体験など体験活動の積極的な導入
- ・道徳科教育や人権教育の充実
- ◇幼、保、中、高校、高齢者、地域の人との交流活動の推進

【家庭や地域で】

- ・家庭で積極的にコミュニケーションをとろう
- ・地域で子どもを育てよう！
- ・地域や子ども会行事等への積極的参加の奨励
- ・みんなで明るく元気にあいさつしよう！



ぐんぐん活動 (確かな学力)

☆楽しく分かる授業の工夫や地域教育力の積極的な活用により、基礎・基本をしっかり身に付け、個性豊かな能力をぐんぐん伸ばし、自ら考え判断できる賢い児童を育てる。

- ◇授業のねらいの明確化と意欲を喚起し、互いに学び合う授業の工夫
- ・学習活動における主体的な学びの推進
- ・しっかり聴き、じっくり考え、はっきり話す
- ◇「ぐんぐん教室」の充実（夏休み）

【家庭や地域で】

- ・家庭学習をしよう！
- ・「家庭学習のしおり」の活用
(学年別目標時間を設定)
- ・見すぎ・やりすぎに注意しよう！！
- ・テレビ・ゲームの時間確認



きらきら活動 (健やかな体)

☆自分の健康や体力についての確かな理解をもとに、主体的に運動に親しみ、健全な食生活をし、明るく元気できらきら輝きながら、たくましく生きる児童を育てる。

- ・新体力テストの結果を生かした体育授業の充実、改善
- ・体育的行事の充実
- ・各種運動の「ミニマム」の効果的な活用
- ◇業間や昼休み等の積極的な運動や遊びの奨励
- ◇家庭との連携による食育の推進

【家庭や地域で】

- ・スポーツ少年団活動や各種大会、地域行事等に参加しよう
- ・休日に親子で運動しよう！
- ・好き嫌いをなく食べよう



8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

本校のキャッチフレーズは、『明るく 楽しく 喜びいっぱい心のふるさと今泉小』であり学校経営の方針にも、『9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり』と明記している。具体的には、家庭、地域の信頼と協力のもと、誰もが夢や希望を抱き、喜びやりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童、家庭、地域とともに歩む学校を目指す。

②主な取組

- 地域協議会を通じて授業等への支援・協力（授業ボランティア、図書ボランティアの募集・活用）
- 教育課程では取り組むことが難しい体験や学習の時間（ぐんぐん教室）の充実のための地域人材の活用
- 地域協議会委員による授業参観や学校評価の実施に基づく積極的な学校運営への参画の促進

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

泉が丘中・今泉小・泉が丘小の3校が連携に努めながら、一貫して「学び・共に行動し・鍛える」教育実践に取り組むことにより、3校共通の学校経営の重点である「児童生徒の人間関係構築力」の育成を図り、相互に関わり合いながら「共に学ぶこと」「共に行動すること」「共に生きること」について考えることができるよう、各校における教育課程実践の充実・深化を図る。

②主な取組

- 小中合同「授業力向上プロジェクト」の推進

- ・小中合同全体会及び教科別研修会（6月）
- ・小中合同研修会（講話：泉が丘小学校 7月）
- 児童生徒指導強化連絡会及び不登校対策協議会の充実
 - ・各校輪番制での授業公開及び児童生徒指導における共通課題の検討
 - ・不登校児童の実態把握と改善策の検討
 - ・小学校6年児童の中学校訪問（授業見学・生徒会による学校説明・部活動見学等）
- 小中乗り入れ授業の推進（中学校から小学校への実施）
- 小中交流のボランティア活動の実践
 - ・駅前東公園清掃活動の実践（今泉小6年生と泉が丘中1年生との交流活動）
- 事務職員分科会による会計処理の充実，及び共同事務の構築
- 小中合同会議・協議会・部会研修会の実施

（3）不登校対策

①基本的考え

本校では，人とのつながりを大切にすることを第一とし，①不登校になる前に「目配り・気配り・声掛けなど「未然防止（健全育成）の取組」，②不登校になりそうな児童に対する「初期対応（早期発見・早期対応）の取組」，③さらに不登校状態に陥ってしまった児童への「組織的な対応，多様な支援」を行うことで，不登校児童を生まないための取組を組織的・計画的に実践していく。

②主な取組

- 「友だちアンケート」の実施（年4回以上）と，いじめ及び不登校になりそうな児童の早期発見への取組（いじめ不登校対策委員会の実施及び保護者との連携等）
- Q-U検査やアンケートを基にした児童との教育相談や丁寧な声掛け
- 報告・連絡・相談を徹底し風通しの良い職員室の雰囲気づくり
- 週一回（水曜放課後）児童指導について，報告の実施と教職員への共通理解及び組織的な支援
- 定期教育相談（ふれあい月間）の実施（6月，12月）
- 特別支援委員会（定期・適時）の適切な実施
- 生活指導，特別支援，問題行動の未然防止についての職員研修の実施

（4）G I G Aスクール構想

①基本的考え

本校では，全ての児童・教師が1人1台端末を文具の一つとして，授業の内外で日常的に活用することにより，多様な児童たちを誰一人取り残すことのない，公正に個別最適化された学びを，教育活動の中で持続的に実現できるよう努める。そして，これまでの教育実践とICT環境の融合を図ることで，全ての児童・教師が協働学習ソフト等を活用した授業が行えるよう計画的に取り組んでいく。

②主な取組

- 辞書・図鑑代わりに検索サイトの活用（情報活用能力の育成）
- 教科書等のQRコードからデジタルコンテンツの活用（教材準備）
- ワープロ・表計算・プレゼンソフトを共同編集で活用（課題解決力の育成）
- A I型ドリル教材・映像教材を課題（宿題）や家庭学習等で活用（校務の効率化）

- 児童の成果物の共有や学級での意見交換
- 自動採点されるミニテストの作成及び評価
- 資料や作成中のレポートの共有等

(5) 宇都宮学

①基本的考え

本校では、郷土の歴史や伝統文化・産業等について、宇都宮学を通してその特色や魅力に関する知識を身に付けるとともに、郷土のよさを理解することができるよう体系的な学習を重視していく。そして、習得した知識を活用しながら、郷土の未来を考えたり魅力を表現したりして、郷土への愛情や誇りをもって、未来を切り開いていこうとする実践的な態度の育成に努める。

②主な取組

- 社会科副読本の活用（小学校3年・4年）
- 宇都宮学施設めぐりの実施（小学校4年：環境学習センター・大谷資料館等）
- 宇都宮学副読本（小学校版）の活用
 - 「宇都宮の自然と交通：5年」
 - ・宇都宮の場所と地名
 - ・宇都宮の自然環境
 - ・宇都宮の生きもの等
 - 「宇都宮の伝統文化：6年」
 - ・百人一首の魅力
 - ・宇都宮の伝統工芸
 - ・宇都宮の郷土料理等
- 他教科等との関連を図った活動の推進（学校行事及び特別活動等）